



外国出張報告書

平成 26 年 12 月 18 日

1. 出張国名 ガーナ

2. 出張月 平成 26 年 11 月～12 月

3. 出張目的 アフリカ稲作振興プロジェクトの進捗管理及び
現況ため池の水利用調査：B

4. 成果の概要

- (1) 補助金調査に関係する、タマレ周辺、クマシ周辺の稲作地帯、及びため池の現況を調査した。その結果、(i) タマレ市周辺の **Nwogu** 村では、概ね計画通りに新規ため池の掘削が行われていることを確認した。(ii) タマレ市周辺の **Sanga** 村では、既存ため池の一部が越流により破損しており、地元の農家は改修が必要だと認識していることがわかった。(iii) クマシ市周辺のため池建設整備の候補地の **Aninkroma** サイトでは、今年は十分な降水により二期作が順調に行われていた。(iv) クマシ市周辺の **Kodadwen** サイトでは、最下流の圃場では二期作が行われていたが、上流の圃場では一期作の刈り取り後、二期作は行われていなかった。現在の掘込みため池の水では二期作には不足していることが確認できた。
- (2) ガーナ国関係機関に関するプロジェクトサイトの視察では、タマレ周辺では、(v) ガーナ灌漑発展公社 (**Ghana Irrigation Development Authority: GIDA**) が管理しているダム下流の稲作地帯を視察した。農民の代表者によって十分な水管理がなされていた。(vi) クマシ市周辺の **JICA** プロジェクトサイトでは、二期作の田植えが行われていた。農家によれば、この地区は雨の豊富な今年に限らず、水不足に悩まされることはないとの発言があった。